事業所名:　グループホーム旅路

作成日:　令和4年4月4日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49(18)	コロナ禍において外出の機会が減少し、またその状況が漫然と続く事で利用者の楽しみや気分転換を図る機会が減少していると感じられる	外出や買い物を含め、レクリエーションの機会が定期的に確保できる。	職員の増員及び職員配置の見直しをし、職員がレクリエーションに専従して取り組める時間を確保する事で、集団レクや外出活動を定期的に行える習慣を持つ	6 ヶ月
2	13	①等達成の為等職員の増員に伴う人員の変化により、各人の施設の取り組みに対する理解に差が発生すると考えられる。	職員間でのコミュニケーションの機会、想いを表明する場が持てる。	異なる経歴等から今までにないアイデアを業務に取り入れられるよう、定期的な会議開催を継続しその意見が表明出来るよう図る。また、基礎知識から振り返る研修内容を継続し、技術のばらつきを抑える。	6 ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月